

国語 三次 解答用紙 一

問題一

問一

㊦ 実地

㊧ 万事

㊨ がんりき

㊩

異存

㊪

しょうね

問二

不器用な私が、弟と自分の二人分の縫い直しを要領よくこなす技術を身につけ、自分の自由時間を  
持てるようにするため。

人前では自分の家の縫い物をしない  
ところ。

問三

裁縫の基本を身に付くまで繰り返し教える  
ところ。

手抜きを許さない  
ところ。

問四

誰にも気づかれないうちに体裁良く見せる自らの手抜き技術を、みごとな腕前だと思ってしまった  
から。

問五

ウ

問六

自分でも気づかないうちに、自らの品格をおとしめることになってしまつから。

問七

きちんとした技術を持っている人が、手抜きであることをわきまえて手際よく行うところ。

問八

(そこはかとなく) 淋しい

問九

不揃いな針目

問十

オ

座席番号

受験番号

氏名

合計得点

座席番号	
受験番号	
氏名	

合計得点	
------	--

二〇〇九年度 普連土学園中学校入学試験

二〇〇九年二月四日実施

国語 三次 解答用紙 二

問題二

問一 ㉠ あいそ ㉡ 鼻 ㉢ 磁石

㉣ 鏡 ㉤ 一目散

問二 赤い革のアノラックを着られる日が近づいてきたということ。

問三 待ちに待っていた初雪が降っていることに気づき、喜んでいる。

問四 ア 「ウ」には部分点がありません。

問五 学校がある日なのに、まるで札幌に行ってきたかのような発言をしたこと。

問六 ピアノを習うために学校を休んだ事をつしるめたく感じていたから。

問七 雪遊びをするために、急いで家に帰り長靴にはきかえたい思ったのと、雪道で滑ってころばないため。

問八 内田くんはみんなと一緒に雪遊びをするため、チツルに母親を説得する手助けをしてもらおうと思っていたから。

問九 エ

問題三 (別解あり)

象 定 行 重 黄

問題四

イ イ エ ウ ウ

